



光市民憲章

- 1 ふるさとの自然を愛し 花と緑の豊かな まちをつくりましょう
 - 1 ところとからだをきたえ 文化のかおる まちをつくりましょう
 - 1 あたたく互いに助け合い 笑顔のあふれる まちをつくりましょう
 - 1 たのしく働き ものを大切にし 活力のある まちをつくりましょう
 - 1 きまりを守り 人をとうとび しあわせな まちをつくりましょう
- 平成17年10月2日制定

芸術・文化活動の振興と地域文化の保存・継承

芸術・文化活動の振興を図るため、優れた芸術・文化にふれあう機会を拡充するとともに、より多くの市民が芸術・文化に親しむことのできる環境の整備を図ります。

また、地域の文化財・伝統芸能等について市民への周知、保存及び活用に努めます。

- 市民ホール、文化センター、ふるさと郷土館等での芸術・文化活動の発表の場の拡充を図ります。
- 市内中学校において、重要無形文化財保持者（人間国宝）の特別授業を実施し、芸術・文化への関心を高めます。
- 「未来をひらく 光市の歴史文化」や文化財カルテ等を活用し、歴史文化遺産の保存・継承、活用に努めます。
- 地域の伝統芸能や祭りの保存・継承のため、地域との連携や後継者育成の機会の充実等について支援を図ります。
- 伊藤公の生涯や業績等を後世に継承するとともに、伊藤公資料館の利用促進を図ります。

生涯にわたってスポーツに親しみ、楽しめる環境の充実

スポーツを通して心身の健康の向上を図るとともに、青少年の健全育成や地域コミュニティの活性化を促し、豊かな地域社会をめざします。

- 市民体育大会、駅伝競走大会、ウォーキング大会など、多くの市民が参加できる大会の創意工夫と活性化を図ります。
- スポーツ指導者、スポーツ推進委員並びにスポーツボランティア等に対する研修を実施し、指導者の資質の向上を図るとともに、協力体制の構築に努めます。
- 学校体育施設開放及び各体育施設の効率的な運用を図り、市民が安全にスポーツ活動を行える環境整備と活用に努めます。

子どもたちの健康・体力・学力の向上に資する学校給食の充実

学校給食センターは、子どもたちの心身の健全な発達に寄与するため、安全・安心で栄養バランス・多様性に配慮した学校給食を提供するとともに、学校給食を通して、食育の推進に努めます。

- 衛生管理の徹底を図り、一品も欠かすことなく安全・安心な学校給食を提供します。
- 事故のない確実なアレルギー対応食の提供に努めます。
- 主菜、副菜のバランスがとれ、美味しいと感じられる「食事のモデル」となる給食の提供に努めます。
- 地産地消を推進し、地域の産物の理解、感謝の気持ちを育みます。
- 食育だよりの発行や学校巡回訪問指導を実施し、子どもたちの望ましい食習慣の形成や食に関する理解の促進に努めます。

教育開発研究所における調査研究の充実・深化

児童生徒が確かな学力や豊かな心、健やかな体など生きる力を身に付けることができるよう、光市の教育課題の解明、教職員の資質向上を図ります。

本研究所では、こうした求めに応えるということから、本年度は、研究員 58名（教職員 42名、市民 11名、行政5名）が「心の豊かな成長を育む学校運営」「光市の特徴を生かした光市民学」「確かな学力を育むカリキュラム編成やきめ細かな指導方法の工夫・改善」の3つの研究テーマを掲げ、調査研究を進めております。

多くの方々の意見を参考にさせていただきたいと思っておりますので、お気づきがありましたらお寄せください。

光市教育開発研究所HP <http://kenkyu.hikari-net.ed.jp/>
ご意見をお寄せください E-mail: kenkyu@edu.city.hikari.lg.jp



～人にやさしい「わ」のまち「ひかり」の実現をめざして～

光市の教育

28年度 光市教育の重点施策

- 1 安全・安心かつ学習に集中できる教育環境の整備・充実
- 2 生きる力を育む学校教育の推進
- 3 教育開発研究所における調査研究の充実・深化
- 4 人権尊重の意識を高める人権教育の積極的な推進
- 5 学校・家庭・地域の連携を軸とした社会教育の推進
- 6 芸術・文化活動の振興と地域文化の保存・継承
- 7 市民の身近にある学びの拠点施設としての図書館の充実
- 8 生涯にわたってスポーツに親しみ、楽しめる環境の充実
- 9 子どもたちの健康・体力・学力の向上に資する学校給食の充実

光市のめざす教育

光市では、市民一人ひとりが幸せや満足を実感できる「やさしさあふれる『わ』のまちひかり」の実現をめざしています。

その実現には、人づくりが重要であり、人づくりを担う教育の働きは極めて重要です。

教育は、人々の多様な能力を最大限に引き出し自己実現を図るとともに、これからの社会の発展を実現する基盤です。

そのため、学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互の連携及び協力に努めることが大切になります。

学校間・校種間、家庭・地域の連携・協働のもと、最適な教育環境を整備・充実し、次世代を担う子どもたち一人ひとりに「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」のバランスのとれた「生きる力」の育成を図りたいと考えています。

また、市民の皆さんが、生涯を通じて学び続けることができる教育環境の充実に努めます。



人権尊重の意識を高める人権教育の積極的な推進

市民の人権尊重の意識を高めるため、家庭、地域、職場、学校などあらゆる場を通じて、人権尊重に対する正しい知識や理解を深めるための人権教育を推進します。

- 子どもたちの心身の過程に即し、学校の教育活動を通して人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育を組織的・計画的に推進します。
- 学習の場そのものが子どもたちにとって、安心して楽しく学ぶことのできる環境となるよう互いを尊重した人間関係や人権が尊重された学習環境の整備に努めます。
- 地域社会における人権尊重の意識と自主的な取組の高まりをめざし、職場を含めた地域社会における学習機会の充実に努めます。

生きる力を育む学校教育の推進

教育内容、指導方法の充実・向上と教職員の資質向上を図りながら知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を推進します。

- 学力向上推進リーダー・学力向上推進教員・英語教育推進教員等との協働により、授業の質の向上を図ります。
- 道徳教育の充実、心を磨く清掃活動、心を耕す交流学习などの体験活動を積極的に推進し、豊かな心を育みます。
- いじめ問題、不登校児童生徒の対応をきめ細かく行います。
- 体育的教育活動の積極的な推進、食育の充実、安全・防災教育の徹底を図り、健やかな体を育みます。
- 一人ひとりのニーズに応じた指導・支援の充実や相談体制を整備し、一人ひとりを大切にする特別支援教育の実現をめざします。

教育フォーラムin光

光市内の各学校の教育活動の一端を公開し、教育講演では、宮城県気仙沼市の養殖漁業家、NPO法人 森は海の恋人理事長 畠山重篤氏から豊かな海を取り戻す植林運動や子どもたちへの環境教育についての話を伺い、これからの教育の在り方について市民の方と一緒に考えます。

(8月19日開催予定)

- 児童・生徒の学習活動の発表
- 海外派遣体験発表
- 教育講演
・講師

NPO法人 森は海の恋人理事長 畠山 重篤 先生
・演題 「森は海の恋人 人の心に木を植える」

- 児童・生徒の学習の成果展示
- 教職員の研究物等の展示

市民の身近にある学びの拠点施設としての図書館の充実

自ら学び自ら高めようとする市民の生涯学習への意欲を支援し、知的な出会いの場となるよう、市民の求める資料・情報を収集、提供し、「利用しやすく、親しみやすい」図書館づくりに努めます。

- 第二次光市子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもの「読書の習慣づくり」を図り、児童書の貸出冊数の増加に努めます。
- 新図書館システムの周知を図り、利用者サービスの向上に努めます。
- 開館40周年記念講演会を開催し、読書活動の推進を図ります。



安全・安心かつ学習に集中できる教育環境の整備・充実

子どもたちが日々安心して学校生活を送れるよう、学校施設の整備を計画的に実施していくとともに、質の高い教育環境のもとで快適な学習機会が得られるよう、より効果的な教材等の整備を進めていきます。

- 市内小・中学校の屋上防水・バルコニーの手摺り・庇コンクリートの改修工事やトイレの洋式化に向けた工事を実施します。
- 小中学校の管理備品(机、椅子、遊具、インフルエンザ対策用品、消化器薬剤等)を購入・交換・更新し、子どもたちが安心して学習に集中できる環境を整備します。
- 小中学校教育振興備品(楽器、体育教材、教育情報機器、学校図書、理科教育等備品等)の整備を行い、充実した学習及び質の高い授業が実践できる教育環境の充実に努めます。

連携・協働を重視した学校づくり

幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校の連携の強化、コミュニティ・スクールの取組を積極的に推進し、連携・協働を重視した学校づくりに努めます。

- 幼保・小・中学校の連携を密にし、15歳までを見通した学力向上や生徒指導の充実等、具体的取組を実践します。
- 学校・家庭・地域が「めざす子ども像」を共有し、「教育の当事者」として、子どもの豊かな『学び』と『育ち』に積極的にかかわります。

学校・家庭・地域の連携を軸とした社会教育の推進

市民の教養の向上、社会を形成する自立した個人の育成を図るため、社会教育団体等の活動が効果的に実施される環境を醸成するとともに、学校、家庭、地域や関係機関等と連携、協働に努め、子どもの育ちだけでなく、成人教育や青少年の健全育成を推進します。

- 社会教育関係団体の活動の充実、家庭の教育力の向上のために、情報提供に努めます。
- 伊藤公カップ～英語スピーチコンテスト～を実施し、表現力やコミュニケーション能力の向上を図ります。
- 中学生リーダー養成講座・光ジュニアクラブの内容充実を図ります。
- クリーン光大作戦への青少年の参加促進を図ります。
- 放課後児童クラブ(サンホーム)は、今年度は利用対象学年を第5学年まで拡充、平日における開所時間の延長を行い、共働き等により放課後留守になる家庭に対する子育て支援を行います。
- 放課後子ども教室については、地域の方の参画・協力をいただき、子どもたちの学習やスポーツ・文化活動を通じた、地域の方との交流活動を実施します。